

障がい児教育 共通実技研修会 終了報告

テーマ	心理検査の方法と活用(WISCIV)	
日時	平成28年 7月 7日(木) 8日(金) 14:00~16:30	
会場	石狩教育研修センター	
講師	田野 大介 氏 (肩書:北海道立特別支援教育センター 自閉症・情緒障がい教育室研究員)	
参加者	約 110名(2日間合計)	
研修会 の 様子		講師の先生の経歴や現在研究されていることなどを教えてもらいながら、研修がスタートしました。特別支援教育センターで検査をする時に気をつけていること、保護者への対応などもお話しいただきました。
		テーブルで一つの検査器具を使って、実際に検査をかける練習をしました。かける側、かけられる側の状況やポイントがよく理解できました。
		実際に検査器具に触り、問題を解くことで記録表の扱いについてその方法を知ることができました。検査をスムーズに進めることで正確な検査結果が得られるということが身を持って体験できました。
		二日目は心理検査の応用ということで、解釈やアセスメントについて研修しました。WISCの検査結果の特徴やデータのばらつきから今後の指導にどう生かしていけば良いか、理解を深めることができました。
		事例を用いて、検査結果や検査時の様子をもとに、手だてや支援の仕方、その児童の困り感についてグループ討議を行いました。活発な意見交流が行われ、各グループのまとめも興味深かったです。